

# すぎのこつうしん

平成26年10月号  
古川東町カトリック保育園

## 「自然を大切にすることを育みましょう」

朝夕は日中の暑さからあつという間に涼しくなり、風邪をひいてしまう子ども達もいるようです。体調管理には充分配慮していきたいと思ひます。

今、10月始めにある運動会に向け、各クラス最後の仕上げに入っているところです。

朝、空を見上げると真っ青な空がとても高くなったようで、あぁ秋だなあと清々しい気持ちになります。まさにスポーツの秋、食欲の秋、稔りの秋。行楽シーズン到来です。行動範囲も広がることでしょう。どうぞ子どもと一緒に自然の恵みに感謝しながら気持ちの良い秋を楽しみ、共に分かち合ひて欲しいと思ひます。

子どもとの分かち合ひの大切さについて『保育と保健ニュース』に掲載されていしたので紹介いたします。北九州市の大学教授が記載した記事です。

“理想的な母親とは？”この問いに対してある高名な児童精神科医は「育児にごく自然に没頭して乳児の要求に適切に応えられる、ごく平均的な母親である」と述べています。つまり、子どもの可愛らしさにほだされて、ごく自然に子どもと向き合ひて関わる母親の姿は育児の場面でよく見られますが、こうした何気ない親子の関わりが子どもの情緒や社会性の発達にとってとても大切であることを示唆しています。”

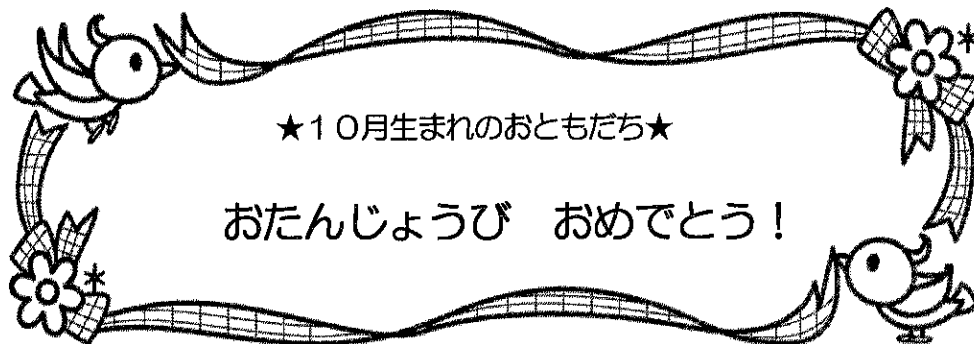
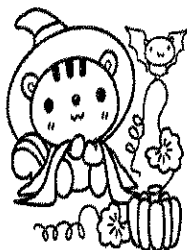
と記載した上で現在の子育てを取り巻く状況は、このごく自然に子どもと向き合ひることが出来なくなっている。自然に子どもと向き合ひ大切さに気付くことを切に願っていると述べています。難しく考えることはないのです。スマホやPCに目を向けるのは子どもが眠ってからでいいのです。その分、子どもに目を向け一緒に過ごし、自然の美しさや感動の心を子どもと共に分かち合ひることを大切にしたい。自然に感謝し大切にするという目標を機に実行してみましょう。

〈 園長 平野 義子 記 〉

## 今月の行事予定

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1日(水) 開園記念日        | 2日(木) 内科健診    |
| 4日(土) 運動会          | 10日(金) 芋煮会    |
| 17日(金) りんご狩り(2歳児～) | 20日(月) 交通安全教室 |
| 24日(金) 誕生会         | 29日(水) 歯科検診   |
| ？日 避難訓練            |               |

※内科健診、歯科検診で何か聞きたいことがある方はお知らせ下さい。  
※29、30日に准看護実習生が5名来ます。よろしくお願ひします。



★10月生まれのおともだち★

おたんじょうび おめでとう！



お父さん・お母さんから

いつもお世話になっております。ことり組の〇〇、ひつじ組の〇〇の母です。生後3、4か月頃から入園し、早いもので来年にはピカピカの一年生になります。トイレトレーニング、オムツ外れ、箸の持ち方など、ズボラな私は家で教える事もなく、すべて保育園まかせにしていたのですが、立派にできるようになりました。〇〇は、夕食の準備をしていると『何か手伝うことある？』/『忙しい時は『お風呂洗ってくるね！』『ママ疲れたの？大丈夫？』など人を思いやることの出来るやさしい子に育ってくれました。ご飯も『ご飯には神様がいるから、残しちゃダメなんだよ！』と米粒一つ残さず食べます。これは先生方の教育のおかげだと思っています。いつも一緒に遊んでくれるお友達、厳しくも愛情をもって接してくれる先生方、いつも本当に有難うございます。これからも宜しくお願ひ致します。

<ひつじ組 〇〇 〇〇くんのお母さん>



## 『自然を大切にすることを育みましょう』

私の生まれた鬼首というところは、多くの自然に囲まれた町です。そんな環境での小さい頃の遊びといえば、周囲に生えている草花を使っただけの草花ごっこや、祖父母と一緒に山や畑を回ることでした。その中で様々な植物の名前や扱い方を知ったり、セミが殻から脱皮する瞬間を見たこともありました。幼いながらも命の尊さや自然の面白さを身をもって感じる事ができました。

古川の街中では、多くの自然に触れることはなかなか難しいですが、子ども達に少しでも自然に触れ、その大切さを知ってもらえるよう保育していきたいと思ひます。みなさんも休日にちょっと足を伸ばして、秋の自然に触れませんか？

<ひよこ組担任 大場 千佳子>



10月のうた

♪まつぼっくり♪  
まつぼっくりがあったとき  
たかいおやまにあったとき  
ころころころころあったとき  
おさるがひろってたばとさ

♪神様といつもいっしょ♪

かみさまといつもいっしょわたしたちみんな  
①あさがきて よがあける たいようのプレゼント  
④みあげれば まっさおな おおぞらのプレゼント  
⑥あめふれば くさきそだち くだものプレゼント  
ありがとう かみさまありがとう たくさんのおめぐみ  
ありがとう かみさまありがとう わたしたちのため



### ばんび組 (0歳児)

〈ねらい〉

- ★外気に触れ、自然の美しさの中で遊ぶ
- ★一人ひとりの体調の変化に留意して、快適に過ごせるようにする

〈家庭連携〉

- 自然の美しさを感じることができるよう、散歩をしたり、外で遊ぶ機会を作りましょう。また、花などを見せ興味を持てるよう声を掛けましょう。
- 朝夕、日中の気温の差があるので体調を崩さないよう気をつけ、体調の変化がある時は連絡を取り合しましょう。
- 長袖Tシャツの用意をお願いします。

### ひよこ組 (1歳児)

〈ねらい〉

- ★自然に興味を持ち、その美しさの中で遊ぶ
- ★興味を持ったこと意欲的にしようとする

〈家庭連携〉

- 秋の草花や落ち葉に触れたり、体を動かして遊ぶことを共に行い楽しめるようにしましょう。
- 着脱や食事など自分でしようとする姿を認め見守ったり援助し、できた喜びを味わえるようにしましょう。



### ことり組 (2歳児)

〈ねらい〉

- ★自然の恵みに触れて興味を持ち大切にしようとする
- ★運動会を頑張り、楽しく行えたという喜びを味わう

〈家庭連携〉

- 家族で自然に触れることで、自然の有り難さを感じましょう。
- 運動会の競技や演技を頑張れるよう励ましたり、認めてあげることで、様々なことに自信がつくようにしましょう。



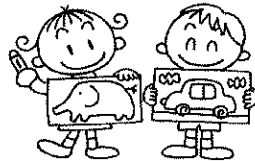
### こねこ組 (3歳児)

〈ねらい〉

- ★身近な自然に触れ、美しさを共感し合う
- ★友だちと関わって遊ぶ中で少しずつ相手の気持ちを知る

〈家庭連携〉

- 秋の自然に触れ、子ども達の感じたこと思ったことに共感してあげましょう
- 子どもの言葉に耳を傾けるだけでなく、お父さんやお母さんの気持ちも言葉で伝えましょう。



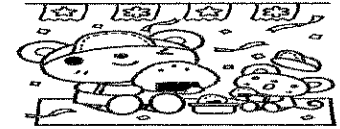
### うさぎ組 (4歳児)

〈ねらい〉

- ★自然の美しさに触れ大切にする心が育つ
- ★気温の変化によって衣服の調節を行う

〈家庭連携〉

- 園外保育や散歩を通して秋の自然に触れ、秋の食べ物を味わう中で生命の尊さに気付けるよう働き掛けていきたいと思います。
- 気温に応じて自ら衣服の調節ができるよう、声を掛けていきたいと思います。



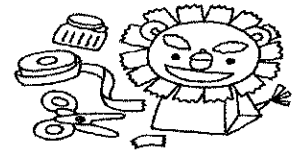
### ひつじ組 (5歳児)

〈ねらい〉

- ★様々な自然の恵みによって、生かされている自分に気付く
- ★いろいろな素材を用いて、工夫して作り上げる喜びを感じる

〈家庭連携〉

- 食べ物全てが自然の恵みであり、生きるために必要なエネルギーを作る大切な物であることを、食事の時間などにじっくりと知らせましょう。
- 何事も最後まで頑張る大切さを知らせ、頑張った時はたくさん褒めて自信を持たせましょう。



### ◎給食室より

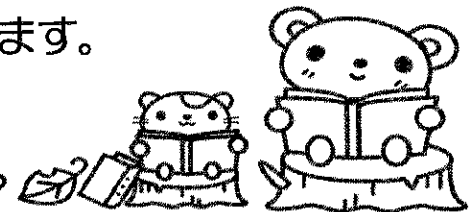
食材はすべて自然の恵みです。食べられることは当たり前ではありません。豊かな土、雨、陽の光、風、そして生産者がいなければ私たちの食卓は寂しいものになるでしょう。食べられることに感謝し、自然を大切にしましょう。



★10月から面談が始まります。日時を確認をお願いします。

★BOXティッシュとひもつきビニール袋(30×40)を集めます。

よろしくお祈いします。





## あなたの一分間拝借！

2014年 10月 1日

10月の保育目標は、「自然を大切に作る心の育成に力を尽くしましょう」をテーマにしております。秋の自然は、人の心を深め、浄化してくれます。遠くから見る山肌の色めき、紅葉は最たるもので、人々は、安らぎを求めて山野に車を走らせるものです。私達の身近なところにある森林にも秋の自然美と神秘が共存していることにハッとさせられることが多々あることに気付かされます。

その一つは『腐葉土』が私たちの心に様々なことを教えてくれることです。足元にカサカサと音を立てて落ちてくる枯れ葉、命を終えた無数の落ち葉が秋雨に濡れ、風に吹かれ、地に落ちて、散策する私たちに踏みつけられ、やがて粉々に壊れて土に還ります。これを『腐葉土』といいます。花壇やミニ畑、盆栽等に愛用されお店でも売られてるものです。

ところが、自然の中の木々は、自然のあるがままの葉が土に還って親木の肥料となって新しいエネルギーとなり、春の息吹を待つ親木の命を育てる肥料となっていることに、人間には利用することが出来ても、創ることが出来ない自然の仕組みの神秘に感動せざるを得ない不思議があること、秋の落ち葉という代物は、決して無駄な無益なものではない、とても大切なものであることに目覚めてもおかしくないと思います。今年も、秋の山々の紅葉した木々の美しさに心が洗濯され感激する恵みは、この腐葉土の力のお陰であることに認識を新たにして自然を愛する人間性の育成に力を尽くすように心掛けたいものですね。聖書に『一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ』〈ヨハネ12の24〉とあります。葉は地に落ちて死ななければ土になれないのです。土に還らなければ木を育てる肥料にはなれないのです。

そこに新しくなる神秘的原理が存在することに注目してほしいですね。それを無益なゴミとして始末するのではいかかかと思う御仁です。また、捨てられても新たな原料として活用して下さることに敬意を表すると共に、ここでは、木自体が自分の一部である葉っぱで養われている神秘に偉大な叡智の存在とその配慮に人は頭を下げなければならないのではないのでしょうか。どんなに小さな植物にもこうした仕組みが繰り返されて植物的生命が私達の惑星に豊かな潤いを与えてくださっている現実と正しく向き合っ、自然環境を大切にしよう心がけたいものですね。

インドの聖者と尊敬されているマザーテレサは、貧しい人々、見捨てられた孤独なお年寄りたちの『腐葉土』となってあたたかい救いの手を差し伸べ、生涯をささげて永遠の命を得たことは聖書の教えを生きた人間の素晴らしいモデルといっても過言ではないでしょう。

私達も、自然を愛し、自然の仕組みに秘められた神秘に心の目を向け、家庭や学校、地域社会の腐葉土的な存在となって人間性教育に力を注ぎながら10月の日々を過ごしましょう。

秋は、自然を通して人間の心に反省と安らぎを得て新しい自分を創造する時！

秋は、人間に忘れてはいけないことを思い出させる時！

秋は、実りの時、味覚の時でもある。おいしい果物、新鮮な野菜、山の幸、海の幸に感謝をささげる時！

あなたは人々の腐葉土になっていますか、それとも唯の葉っぱに終わっていませんか。土になり、肥料に変わり、力になれば最高ですね！

自然を大切に人は、神の祝福を受けるに値する人！

自然環境を破壊する人は、神から遠い人！

神は自然を通して超自然というご自分の世界に人類を招かれている！

神は天地万物を創造し、それを人の叡智に委ねたまえり！（旧約 創世記）

## 秋を愛する人は、こころの深い人！



カトリック古川教会 司祭 川井 啓